

単 位

大学における履修は単位制によって行われます。

1. 単位制について

単位制とは所定の単位数の修得を進級や卒業認定の要件とする制度です。授業科目に定められている単位を在学中に一定の基準に従って履修し、教科担当者が学修状況とその成果を考査のうえ合格判定をすれば単位を修得できます。卒業に必要な単位を満たすと卒業の資格が与えられ学位が授与されます。

2. 単位と時間数

学年度は前学期・後学期の2学期に分かれ、授業は15週ずつ、年間30週実施されます。単位については『大学設置基準（文部省令28号）』に1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することと定められています。本学ではこの規定に基づき、講義科目15時間、演習科目15～30時間、実験・実習及び実技科目30～45時間の授業をもって各々1単位としています。

本学では、45分を1時間として計算しており、実質90分を2時間として取り扱います。1回の授業（90分）を2時間と換算し、これに予習・復習（各2時間）を行うと合計6時間になります。授業回数を半期（前学期又は後学期）15回とすれば、計90時間となり、1単位が45時間ですから2単位の科目となります。つまり予習・復習を含んで単位修得となることを十分留意し授業に臨む必要があります。

講義科目の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）		45時間 = 1 単位
2 時間	2 時間	2 時間	⇒	15回	⇒	2 単位修得
1 回の学習時間（6 時間）				6 時間 × 15回 = 90時間		

演習科目 30時間で 1 単位の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）		45時間 = 1 単位
0.5時間	2 時間	0.5時間	⇒	15回	⇒	1 単位修得
1 回の学習時間（3 時間）				3 時間 × 15回 = 45時間		

実験・実習科目（180分開講） 45時間で 1 単位の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）		45時間 = 1 単位
0 時間	4 時間	0 時間	⇒	12回	⇒	1 単位修得
1 回の学習時間（4 時間）				4 時間 × 12回 = 48時間		

3. 履修の上限

履修科目として1年間で履修登録できる単位数の上限は、以下のとおりです。

栄養科学部 栄養科学科	下記以外	50単位（教職科目含む）	教育学部	49単位
	前年度単年度 GPA 1.5未満	45 〃 (〃)		
	〃 GPA 2.5以上	55 〃 (〃)		
栄養科学部 フード・マネジメント 学 科	下記以外	49単位	流通科学部	46単位 ビジネスプロジェクトA・ B・C、インターンシップ、 サービラーニングを除く
	前年度単年度 GPA 1.5未満	45 〃		
	〃 GPA 2.5以上	55 〃		

ただし、「英語・文化海外研修」は履修の上限から除きます。

また、編入学生については、別に定めています。（学生便覧を参照してください）

重要

「履修登録できる単位数」とは、受講し単位修得できなかった科目も含みます。後学期に追加登録することもできますが、上記科目も含めての上限となります。

履 修

授業を受けて学修することを履修といいます。毎年その年度に履修する授業科目を登録する必要があります。

1. 履修とは

授業を受けて学修することです。

そのために、毎年その年度に履修する授業科目を登録しなくてはなりません。

2. 履修登録

履修登録とは、その年度に履修しようとする授業科目を登録することです。登録後は原則として変更できませんし、履修登録をしていなければ、たとえ受講し期末試験に合格しても単位を得ることはできません。卒業や免許・資格の取得条件に留意して学生各自の責任において誤りのないよう十分注意してください。履修登録は学生各自が責任を持って行うことが原則です。履修登録ミスや確認ミスは各自の責任ですので十分注意してください。

3. 登録方法

本学では、指定期間内に各自でパソコンを使い、Web上で履修科目の登録手続きを行います。Web履修登録はインターネット環境があれば、自宅など学外から手続きを行うことも可能です。

4. 履修登録の流れ

学 期	前学期 履修登録	後学期 履修修正
授業開始前に Web 履修登録	在学生 3月27日(月) 9:00～ 3月31日(金) 13:00まで 新入生 4月4日(火) 9:00～ 4月5日(水) 17:00まで	
↓	4月7日(金)	9月19日(火)
授業開始		
↓		
変更なし	4月7日(金) 8:00～ 4月13日(木) 23:59まで	9月19日(火) 8:00～ 9月25日(月) 23:59まで
↓		
履修登録完了	4月14日(金)	9月26日(火)

5. 登録上の注意

- (1) 1年間に履修する全ての科目を登録してください。必修科目・集中講義・学外実習も登録漏れがないように注意してください。
- (2) 各開講科目は、授業の内容、教室設備その他の都合により、受講人員を制限することがあります。
- (3) 履修希望者が一定数を超えた場合は、履修者数を制限したり、クラスを分割することがあります。又、履修者が極端に少ない場合は、クラスの統合や閉講になることがあります。

Column Case 1

ガイド君は月曜1限に教養科目を受講しました。月曜日ですが毎週早起きして、遅刻を1回もせず、試験の代わりに課せられたレポートにも真剣に取り組みました。しかし、8月に該当科目の成績が発表されていないことに気が付きました。「秀」評価をとる自信のあったガイド君は不思議に思い、先生に尋ねたところ、「履修登録していないから、名簿に名前がないよ。これだと、成績もつけられないよ。」と言われてしまいました。

授業を受講して単位を修得するには、定められた期間内に履修登録をする必要があります。履修登録をせずに授業を受講しても、単位は認められません。ガイド君は、進級に必要な科目でなかったため留年は免れましたが、来年、また受け直しということになりました。



遠隔授業で取得した単位の卒業要件算入について

令和5年度の授業については、原則対面授業を実施し、対面授業と同等以上の教育効果が見込まれる科目について、遠隔授業を実施いたします。

大学設置基準及び短期大学設置基準により、卒業要件に含めることができる「遠隔授業」で取得した単位数については、大学60単位・短大30単位を超えないものとして定められております。

※令和2～4年度に実施した遠隔授業については、新型コロナウイルス感染症拡大時の特例措置として、単位の上限に含める必要はありません。

上限の対象となる「遠隔授業」は以下のとおりです。

- ・全ての授業時数を、遠隔で実施する科目。
- ・対面と遠隔が混在する科目の内、半数を超える授業時数を遠隔で実施する科目（例えば15回の授業の内、8回以上が遠隔）

上記の基準に該当する科目については、「遠隔授業実施科目一覧」を UNIPA で配信いたしますので、各自確認のうえ、上限単位を超えないよう計画を立てて履修登録を行ってください。

卒業、進級、免許・資格取得

卒業・進級するために、また免許・資格を取得するためには、様々な要件を満たさなければなりません。

1. 卒業

卒業するためには原則4年以上（休学した場合は、その期間を除く）在学し、次表の必要単位数を修得しなければなりません。編入生については、別途卒業の要件が定められていることがあります。

栄養科学部 栄養科学科 2022年度以降入学生に適用

授業科目	一般教育			専門教育		計
	人文科学教科	自然科学教科	外国語教科	基礎教科	専門教科	
必修科目	－	2 単位	－	39単位	50単位	91単位
選択科目	6 単位以上	4 単位以上	5 単位以上	－	－	33単位以上
	さらに全体から18単位以上修得					124単位以上
卒業に必要な単位数						

※教職に関する授業科目は、卒業に必要な単位（124単位）には含まれませんので、注意してください。

2021年度以前入学生に適用

授業科目	一般教育			専門教育		計
	人文科学教科	自然科学教科	外国語教科	基礎教科	専門教科	
必修科目	－	2 単位	－	41単位	50単位	93単位
選択科目	6 単位以上	4 単位以上	5 単位以上	－	－	31単位以上
	さらに全体から16単位以上修得					124単位以上
卒業に必要な単位数						

※教職に関する授業科目は、卒業に必要な単位（124単位）には含まれませんので、注意してください。

栄養科学部 フード・マネジメント学科 2021年度以降入学生に適用

授業科目	教養教育			専門教育								計
	人文科学教科	自然科学教科	外国語教科	共通基礎科目	栄養学科目	食品学科目	食文化調理科目	健康食品ビジネス科目	応用食品ビジネス科目	専門発展科目	卒業研究	
必修科目	－	－	－	2単位	10単位	24単位	4単位	6単位	－	－	5単位	51単位
選択科目	6単位以上	6単位以上	6単位以上	－	4単位以上	8単位以上	－	4単位以上	4単位以上	－	－	73単位以上
	さらに全体から35単位以上											
卒業に必要な単位数												124単位以上

2020年度以前入学生に適用

授業科目	教養教育			専門教育				計
	人文科学教科	自然科学教科	外国語教科	専門基礎教科	専門応用教科	専門発展教科	卒業研究	
必修科目	－	－	－	34単位	21単位	－	4 単位	59単位
選択科目	6 単位以上	6 単位以上	5 単位以上	－	－	－	－	65単位以上
	さらに全体から48単位以上							
卒業に必要な単位数								124単位以上

教育学部 児童幼児教育学科 2022年度以前入学生に適用

授業科目	教養科目					専門科目							計
	人文科学	社会科学	自然科学	健康・スポーツ科学	外国語	初年次教育	専門基礎理論	学習指導	保育支援	実技・実践	専門発展	ゼミナール	
必修科目	－	－	－	－	－	3単位	6単位	－	－	－	－	6単位	15単位
選択科目	4単位以上	4単位以上	4単位以上	2単位以上	4単位以上	－	－	－	－	－	－	－	18単位以上
	さらに教養科目全体から 6 単位以上					－							6 単位以上
	さらに全体から85単位以上修得												85単位以上
卒業に必要な単位数													124単位以上

※特別支援教育に関する科目は、卒業に必要な単位（124単位）には含まれませんので、注意してください。

2023年度以降入学生に適用

授業科目	教養科目					専門科目							計
	人文科学	社会科学	自然科学	健康・スポーツ科学	外国語	初年次教育	専門基礎理論	学習指導	保育支援	実技・実践	専門発展	ゼミナール	
必修科目	－	－	－	－	－	2単位	6単位	－	－	－	－	6単位	14単位
選択科目	4単位以上	4単位以上	4単位以上	2単位以上	4単位以上	－	－	－	－	－	－	－	18単位以上
	さらに教養科目全体から6単位以上					－							6単位以上
	さらに全体から86単位以上修得												86単位以上
卒業に必要な単位数													124単位以上

※特別支援教育に関する科目は、卒業に必要な単位（124単位）には含まれませんので、注意してください。

流通科学部 流通科学科
2019年度以降入学生に適用

授業科目		必修科目	選択科目	
教 養 科 目	人文科学	2 単位 (留学生は 4 単位)	8 単位以上 (留学生は 6 単位以上)	さらに全体から 55単位以上
	社会科学			
	自然科学			
	健康・スポーツ科学			
	外国語			
共通基礎科目	Academic Literacy	4 単位	8 単位以上	
	Business Literacy	17単位		
	Communication Literacy	－		
	Language Literacy	6 単位		
基 幹 科 目	経営コース科目	－	自コースの科目より 20単位以上	
	商学コース科目	－		
専門演習科目		4 単位	－	
発 展 科 目	社会調査・統計領域	－	－	
	観光・サービスビジネス領域	－	－	
	IT&ビジネス領域	－	－	
	ビジネス心理領域	－	－	
人材育成プログラム科目	ビジネスリーダー	－	－	
	グローバル人材	－	－	
計		33単位	91単位以上	124単位以上
留学生計		35単位	89単位以上	124単位以上

Column
Case2

4年生のガイド君、卒業に必要な残りの単位をしっかりと確認し、履修登録も完了しました。しかし、後学期に1科目不合格になってしまい、単位修得ができず、その結果、卒業要件単位不足で、卒業することができませんでした。

卒業要件ギリギリの単位数で履修登録してしまった結果、1科目不合格になっただけで、卒業に必要な単位が不足してしまいました。卒業要件まで確認して履修登録を完了したのに、もったいないケースです。余裕のある履修登録を心掛けましょう。



2. 進級

各学部学科にて、進級判定を行う年次が定められており、以下の単位数に満たない場合は留年となり、次年度に進級できません。

栄養科学部 栄養科学科

2年次への進級要件	・進級に必要な科目（P11、12の「1年次開講科目」）の単位を修得すること ・1年次終了までに30単位以上修得すること
3年次への進級要件	・進級に必要な科目（P11、12の「2年次開講科目」）の単位を修得すること ・2年次終了までに累積60単位以上修得すること
4年次への進級要件	・進級に必要な科目（P11、12の「3年次開講科目」）の単位を修得すること ・3年次終了までに累積90単位以上修得すること

※教職科目はこれに含めません。

※1年間に履修登録できる単位数は、各年次とも50単位（教職科目を含む）を上限とします。

但し、前年度の単年度 GPA により、上限が別に定められるケースがあります。（P5「履修の上限」を参照）。

※編入学生には、適用しません。

栄養科学部 フード・マネジメント学科

3年次への進級要件	2年次終了までに累積60単位以上修得すること
-----------	------------------------

※1年間に履修登録できる単位数は、各年次とも49単位を上限とします。

但し、前年度の単年度 GPA により、上限が別に定められるケースがあります。（P5「履修の上限」を参照）。

教育学部 児童幼児教育学科

2年次への進級要件	1年次終了までに30単位以上修得すること
3年次への進級要件	2年次終了までに累積60単位以上修得すること
4年次への進級要件	3年次終了までに累積90単位以上修得すること

※特別支援教育に関する授業科目は算入しません。

※1年間に履修登録できる単位数は、各年次とも49単位を上限とします。

※編入学生には、適用しません。

流通科学部 流通科学科

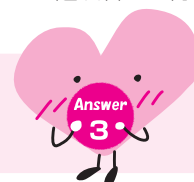
3年次への進級要件	2年次終了までに累積60単位以上修得すること
-----------	------------------------

※1年間に履修登録できる単位数は、各年次とも46単位を上限とします。

Column Case3

1年生のガイド君は試験期間直前に風邪をひいてしまい、十分に試験勉強ができませんでした。時間がなかったので、必修科目の勉強に集中することとし、選択科目の勉強は後回しにしました。必修科目は本試験で何とか合格することができましたが、選択科目の一部は不合格でした。選択科目を修得しないと、進級要件の「30単位以上修得」を満たすことができません。再試験でがんばろうと思っていたところ、ガイド君はこの選択科目の再試験が実施されないことを知り愕然としました。

進級するためには必修科目だけでなく、選択科目も計画的に修得する必要があります。また、追再試験は必ず実施されるわけではありません。日ごろから予習復習に励むとともに、試験前は特に体調管理に留意する必要があります。



[進級に必要な科目（栄養科学部栄養科学科）] 2022年度以降入学生に適用

1 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
管 理 栄 養 士 入 門	1
環 境 と 健 康	1
人体の構造と機能Ⅰ	2
人体の構造と機能Ⅱ	2
人 体 の 生 化 学	2
食 品 の 化 学 と 機 能	2
実習・人体の構造と機能	1
実験・人体の生化学	1
実験・食品の化学と機能	1
基 礎 栄 養 学	2
食事摂取基準概論	1
基 礎 栄 養 学 実 験	1
実習・食事設計と調理Ⅰ	1
実習・食事設計と調理Ⅱ	1

2 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
社会と健康・疫学	1
健康管理概論	2
保健福祉概論	2
疾病の成り立ち－基礎Ⅰ	2
疾病の成り立ち－基礎Ⅱ	1
疾病の成り立ち－臨床Ⅰ	2
疾病の成り立ち－臨床Ⅱ	2
食品の加工と栄養	2
食 事 設 計 と 栄 養	2
食 品 の 安 全 性	2
実 習 ・ 応 用 統 計	2
実験・人体の構造と機能	1
実習・食品の加工と栄養	1
実験・食事設計と栄養	1
栄養マネジメント概論	1
応 用 栄 養 学 Ⅰ	2
応用栄養学Ⅱ（含む運動栄養）	2
栄 養 教 育 概 論	2
給 食 栄 養 管 理	2
給 食 経 営 管 理	2
ライフステージ別・在宅栄養管理実習	1
応用栄養管理実習	1
給食経営管理実習	1

3 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
栄 養 生 化 学	1
実習・疾病の成り立ち	1
実験・食品の安全性	1
栄 養 教 育 各 論 Ⅰ	2
栄 養 教 育 各 論 Ⅱ	2
臨 床 栄 養 学 概 論	2
疾病別栄養管理Ⅰ	2
疾病別栄養管理Ⅱ	2
公 衆 栄 養 学 Ⅰ	2
公 衆 栄 養 学 Ⅱ	2
栄 養 教 育 論 実 習	1
臨床栄養管理実習Ⅰ	1
臨床栄養管理実習Ⅱ	1
公 衆 栄 養 学 実 習	1
臨地実習Ⅰ（給食管理）	1

[進級に必要な科目（栄養科学部栄養科学科）] 2021年度以前入学生に適用

1 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
管 理 栄 養 士 入 門	1
環 境 と 健 康	1
人体の構造と機能Ⅰ	2
人体の構造と機能Ⅱ	2
人 体 の 生 化 学	2
食 品 の 化 学 と 機 能	2
実習・人体の構造と機能	1
実験・人体の生化学	1
実験・食品の化学と機能	1
基 礎 栄 養 学	2
食事摂取基準概論	1
基 礎 栄 養 学 実 験	1
実習・食事設計と調理Ⅰ	1
実習・食事設計と調理Ⅱ	1

2 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
社 会 と 健 康 ・ 疫 学	1
健 康 管 理 概 論	2
保 健 福 祉 概 論	2
疾病の成り立ち－基礎Ⅰ	2
疾病の成り立ち－基礎Ⅱ	1
疾病の成り立ち－臨床Ⅰ	2
疾病の成り立ち－臨床Ⅱ	1
疾病の成り立ち－臨床Ⅲ	2
食 品 の 加 工 と 栄 養	2
食 事 設 計 と 栄 養	2
食 品 の 安 全 性	2
実 習 ・ 応 用 統 計	2
実験・人体の構造と機能	1
実習・病原微生物と免疫	1
実習・食品の加工と栄養	1
実験・食事設計と栄養	1
栄養マネジメント概論	1
応 用 栄 養 学 Ⅰ	2
応用栄養学Ⅱ(含む運動栄養)	2
栄 養 教 育 概 論	2
給 食 栄 養 管 理	2
給 食 経 営 管 理	2
ライフステージ別・在宅栄養管理実習	1
応 用 栄 養 管 理 実 習	1
給 食 経 営 管 理 実 習	1

3 年次開講科目

授業科目	単位数 必修
実習・疾病の成り立ちⅠ	1
実習・疾病の成り立ちⅡ	1
実験・食品の安全性	1
栄 養 教 育 各 論 Ⅰ	2
栄 養 教 育 各 論 Ⅱ	2
臨 床 栄 養 学 概 論	2
疾 病 別 栄 養 管 理 Ⅰ	2
疾 病 別 栄 養 管 理 Ⅱ	2
公 衆 栄 養 学 Ⅰ	2
公 衆 栄 養 学 Ⅱ	2
栄 養 教 育 論 実 習	1
臨床栄養管理実習Ⅰ	1
臨床栄養管理実習Ⅱ	1
公 衆 栄 養 学 実 習	1
臨地実習Ⅰ(給食管理)	1

3. 免許・資格取得

免許・資格の取得を希望する学生は、卒業の要件と併せて、免許・資格に必要な単位を修得する必要があります。（開講科目表参照）

また、免許資格取得・学外実習等には次のような履修の制限があり、これを満たしていない場合は、免許資格科目の履修や学外実習等を行うことができません。

〔免許資格取得・学外実習等の履修制限〕

栄養科学部 栄養科学科

教育職員免許状を取得しようとする者は、2年次後学期までの総合 GPA が2.0以上でなければ、次年度以降の教職に関する授業科目を履修することができません。

4年次の教育実習（中・高）

「家庭科教育法Ⅰ」「家庭科教育法Ⅱ」「家庭科教育法Ⅲ」「家庭科教育法Ⅳ」及び「人権教育」を修得していなければなりません。

4年次の栄養教育実習

- 「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」及び「人権教育」を修得していなければなりません。
- 「栄養教育実習事前・事後指導」を履修しなければなりません。

教育学部 児童幼児教育学科

[2022年度以前入学生に適用]

3年次の教育実習（幼）

- 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目45単位のうち36単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	特別支援教育	2	音楽Ⅱ ピアノ	1
人権教育	2	国語概論	2	音楽Ⅱ 歌唱	1
情報処理A	1	数学概論	2	基礎造形Ⅰ	1
情報処理B	1	生活科概論	2	基礎造形Ⅱ	1
生涯スポーツ論	1※	幼児教育課程総論Ⅰ	2	造形A	1
健康・スポーツ科学実習	1※	保育内容健康Ⅰ	1	幼児と運動A	1
生涯スポーツ実習	1※	保育内容人間関係Ⅰ	1	幼児と運動B	1
英語コミュニケーションA	1	保育内容環境Ⅰ	1	体育A	1
英語コミュニケーションB	1	保育内容表現造形Ⅰ	1	体育B	1
教育原理	2	保育内容健康Ⅱ	1	※「生涯スポーツ論」「健康・スポーツ科学実習」「生涯スポーツ実習」に関しては免許取得のための単位としては、2単位までしか認められません。	
教育心理学	2	保育内容環境Ⅱ	1		
教職論	2	音楽Ⅰ ピアノ	1		
教育制度論	2	音楽Ⅰ 歌唱	1		

- 実習実施前年度までに「幼稚園保育所体験実習」「人権教育」の単位を修得していなければなりません。

4年次の教育実習（幼）

当該年度中に、免許取得に必要な科目を修得する見込みがなければなりません。

3年次の教育実習（小）

- 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目55単位（介護等体験実習は除く）のうち44単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	社会科概論	2	体育科教育法Ⅱ	1
人権教育	2	数学概論	2	英語科教育法Ⅰ	1
情報処理A	1	自然科学概論	2	道徳教育指導論	2
情報処理B	1	生活科概論	2	音楽Ⅰ ピアノ	1
生涯スポーツ論	1※	家庭科概論	2	音楽Ⅰ 歌唱	1
健康・スポーツ科学実習	1※	英語科概論	2	基礎造形Ⅰ	1
生涯スポーツ実習	1※	初等教育課程総論	2	基礎造形Ⅱ	1
英語コミュニケーションA	1	国語科教育法Ⅰ	1	体育A	1
英語コミュニケーションB	1	社会科教育法Ⅰ	1	体育B	1
教育原理	2	算数科教育法Ⅰ	1	小学校教育実習指導Ⅰ	1
教育心理学	2	理科教育法Ⅰ	1	※「生涯スポーツ論」「健康・スポーツ科学実習」「生涯スポーツ実習」に関しては免許取得のための単位としては、2単位までしか認められません。	
教職論	2	生活科教育法Ⅰ	1		
教育制度論	2	音楽科教育法Ⅰ	1		
特別支援教育	2	家庭科教育法Ⅰ	1		
国語概論	2	体育科教育法Ⅰ	1		

(2) 実習実施前年度までに「小学校教育実習指導Ⅰ」「人権教育」の単位を修得していなければなりません。

4年次の教育実習（特支）

当該年度中に、小学校教諭免許状を取得見込みであり、かつ特別支援学校教諭免許取得のために必要な科目を修得する見込みがなければなりません。ただし、その該当者は2年後学期までの総合GPAが2.0以上の者とする。

3年次の保育所実習・施設実習（保）

(1) 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目46単位のうち**37単位以上**修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	教育心理学	2	発達心理学A	2
人権教育	2	教職論	2	子どもの保健Ⅰ	2
情報処理A	1	保育原理A	2	子どもの食と栄養	2
情報処理B	1	保育内容健康Ⅰ	1	障がい児保育	2
生涯スポーツ論	1	保育内容人間関係Ⅰ	1	発達心理学B	2
健康・スポーツ科学実習	1※	保育内容環境Ⅰ	1	音楽Ⅰ ピアノ	1
生涯スポーツ実習	1※	保育内容表現造形Ⅰ	1	音楽Ⅰ 歌唱	1
英語コミュニケーションA	1	保育内容健康Ⅱ	1	基礎造形Ⅰ	1
英語コミュニケーションB	1	保育内容環境Ⅱ	1	幼児と運動A	1
教育原理	2	社会福祉	2	子どもの健康と安全	1
子ども家庭福祉	2	社会的養護A	2	児童文化表現	1

※「健康・スポーツ科学実習」「生涯スポーツ実習」に関しては資格取得のための単位としては、1単位までしか認められません。

(2) 実習実施前年度までに「幼稚園保育所体験実習」「人権教育」の単位を修得していなければなりません。

[2023年度以降入学生に適用]

3年次の教育実習（幼）

- (1) 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目38単位のうち31単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	教育心理学	2	乳幼児と言葉	2
情報リテラシー	2	特別支援教育	2	乳幼児と表現A	2
生涯スポーツ論	1	教職論	2	乳幼児と表現B	2
健康・スポーツ科学実習	1	教育制度論	2	保育内容健康Ⅰ	1
生涯スポーツ実習	1	幼児教育課程総論	2	保育内容人間関係Ⅰ	1
英語コミュニケーションA	1	乳幼児と健康	2	保育内容環境Ⅰ	1
英語コミュニケーションB	1	乳幼児と人間関係	2	保育内容表現AⅠ	1
教育原理	2	乳幼児と環境	2	保育内容環境Ⅱ	1

- (2) 実習実施前年度までに「理論と実際（保・幼）」「幼稚園保育所体験実習」「人権教育」の単位を修得していなければなりません。

4年次の教育実習（幼）

当該年度中に、免許取得に必要な科目を修得する見込みがなければなりません。

3年次の教育実習（小）

- (1) 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目55単位（介護等体験実習は除く）のうち44単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	教育制度論	2	算数科教育法	2
情報リテラシー	2	国語科概論	2	理科教育法	2
生涯スポーツ論	1	社会科概論	2	生活科教育法	2
健康・スポーツ科学実習	1	算数科概論	2	体育科教育法	2
生涯スポーツ実習	1	理科概論	2	英語科教育法	2
英語コミュニケーションA	1	生活科概論	2	道徳教育指導論	2
英語コミュニケーションB	1	音楽科概論	2	基礎造形Ⅰ	1
教育原理	2	家庭科概論	2	基礎造形Ⅱ	1
教育心理学	2	英語科概論	2	体育A	1
特別支援教育	2	国語科教育法	2	体育B	1
教職論	2	社会科教育法	2		

- (2) 実習実施前年度までに「理論と実際（小）」「人権教育」「授業演習Ⅰ」の単位を修得していなければなりません。

4年次の教育実習（特支）

当該年度中に、小学校教諭免許状を取得見込みであり、かつ特別支援学校教諭免許取得のために必要な科目を修得する見込みがなければなりません。ただし、その該当者は2年後学期までの総合GPAが2.0以上の者とする。

3年次の保育所実習・施設実習（保）

- (1) 実習実施前年度までに、免許取得のために必要な下表の科目44単位のうち36単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	子ども家庭福祉	2	発達心理学B	2
情報リテラシー	2	保育原理A	2	子どもの保健I	2
生涯スポーツ論	1	保育内容健康I	1	子どもの食と栄養	2
健康・スポーツ科学実習	1	保育内容人間関係I	1	子どもの健康と安全	1
生涯スポーツ実習	1	保育内容環境I	1	障がい児保育	2
英語コミュニケーションA	1	保育内容表現A I	1	音楽I ピアノ	1
英語コミュニケーションB	1	保育内容環境II	1	音楽I 歌唱	1
教育原理	2	社会福祉	2	基礎造形I	1
教育心理学	2	社会的養護A	2	幼児と運動A	1
教職論	2	発達心理学A	2	児童文化表現	1

- (2) 実習実施前年度までに「幼稚園保育所体験実習」「理論と実際（保・幼）」「人権教育」の単位を修得していなければなりません。